

名古屋大学附属図書館研究開発室
年次報告
2020

*Annual Report of Nagoya University
Library Studies 2020*

目 次

I. 名古屋大学附属図書館研究開発室規程	1
II. 室 員 名 簿	2
III. 事 業 報 告	3
IV. 研究開発概況	5

I. 名古屋大学附属図書館研究開発室規程

制 定 平成 16 年 4 月 1 日規程第 177 号
改正令和 2 年 9 月 14 日名大規程第 99 号

(設置)

第 1 条 名古屋大学附属図書館に研究開発室を置く。

(目的)

第 2 条 研究開発室は、名古屋大学附属図書館における学術情報の収集、保存、提供等の教育研究支援活動に関する研究開発及び図書館情報教育並びに図書館業務への支援及び助言を行い、もって図書館の機能の強化を図るとともに、高度な図書館サービスの実現に寄与することを目的とする。

(室長)

第 3 条 研究開発室に室長を置き、附属図書館長をもって充てる。

2 室長は、研究開発室の業務を掌理する。

(室員)

第 4 条 研究開発室に、専任室員を置くことができる。

2 専任室員は、本学大学教員のうちから、附属図書館長の推薦に基づき、東海国立大学機構の長が任命する。

3 第 1 項に定めるもののほか、研究開発室に兼任室員を置くことができる。

4 室員は、室長の指示に従い、研究開発室の業務に従事する。

(雑則)

第 5 条 この規程に定めるもののほか、研究開発室に関し必要な事項は、附属図書館長が定める。

附則

この規程は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附則(令和 2 年 9 月 14 日名大規程第 99 号)

この規程は、令和 2 年 9 月 14 日から施行し、改正後の第 4 条第 1 項の規定は、令和元年 7 月 1 日から適用する。

Ⅱ. 室員名簿

	氏名	専門領域／所属・職名／着任
室長	佐久間 淳一	言語学 副総長（図書館担当）、附属図書館長 人文学研究科・教授 2020年4月～
兼任室員	塩村 耕	日本文学 人文学研究科・教授 2003年4月～
兼任室員	外山 勝彦	知識情報処理・自然言語処理・法情報処理 情報基盤センター・教授 2013年3月～
兼任室員	小川 泰弘	自然言語処理・法情報処理 情報基盤センター・准教授 2013年4月～
兼任室員	頼 偉寧	認知科学 教養教育院・特任准教授 2014年4月～
兼任室員	斎藤 夏来	日本史学 人文学研究科・教授 2017年4月～
兼任室員	駒水 孝裕	データベースシステム・データ工学 情報基盤センター・助教 2018年2月～
兼任室員	石川 寛	日本史学 人文学研究科・准教授 2019年7月～
兼任室員	佐野 智也	法情報学、立法沿革・体系化 法学研究科・特任准教授 2020年4月～

Ⅲ. 事業報告

①室員及び研究開発内容

室長	佐久間 淳一	全体統括
兼任教授	塩村 耕	(1) 附属図書館所蔵和書古典籍の調査・目録作成と〈名大システム〉古典籍書誌DB構築の研究、及び文化資源活用のための研究 (2) 西尾市岩瀬文庫所蔵古典籍の調査・DB化、及び文化資源活用の地域連携の研究
兼任教授 兼任准教授 兼任助教	外山 勝彦 小川 泰弘 駒水 孝裕	(1) 学術コンテンツ・サービスのための統合情報基盤の整備に関する調査
兼任准教授	頼 偉寧	(1) Develop a series of Nagoya University library workshops on "Logical Thinking Skills for Academic Writing". (2) Develop the library workshop series into a preliminary course for the Mei-Writing summer camp. (3) Develop teaching materials for the workshop series.
兼任教授	斎藤 夏来	(1) 高木家文書の初期文書について (2) 野間家文書の活用について
兼任准教授	石川 寛	(1) 高木家文書の文化財調査に向けた整理作業 (2) コンテンツ開発・地域連携強化
兼任講師	佐野 智也	(1) デジタルアーカイブの研究 (2) 法学研究科公開「人事興信録データベース」の開発

②活動概況（開発室全体に関する事項）

高木家文書常設展	通年
----------	----

③刊行物

名古屋大学附属図書館研究年報 第18号	2021年発行
名古屋大学附属図書館研究開発室年次報告2020	2021年発行

IV. 研究開発概況

■ 佐久間 淳一（室長・副総長（図書館担当）・附属図書館長・人文学研究科教授）

■ 研究開発事項

全体統括

■ 成果のリスト

〔その他の役割〕

1. 国立大学図書館協会理事館館長
2. 国立大学図書館協会学術資料整備委員会委員長
3. 東海北陸地区国立大学図書館協会会長
4. 東海地区大学図書館協議会会長
5. 東海地区図書館協議会会長
6. 名古屋大学高等教育研究センター主催学生論文コンテスト審査員

■ 塩村 耕（兼任室員・人文学研究科教授）

■ 研究開発テーマ

- (1) 附属図書館所蔵和書古典籍の調査・目録作成と〈名大システム〉古典籍書誌DB構築の研究、及び文化資源活用のための研究
- (2) 西尾市岩瀬文庫所蔵古典籍の調査・DB化、及び文化資源活用の地域連携の研究

■ 研究開発概況

- (1) 附属図書館所蔵和書古典籍の調査・目録作成と〈名大システム〉古典籍書誌DB構築の研究、及び文化資源活用のための研究
 - ・前年度に引き続き、附属図書館所蔵の古典籍の調査及びDB化作業をすすめた。
 - ・〈名大システム〉古典籍書誌DBの運営・改善を支援した。
 - ・「古書の会」月例会を主宰、図書館職員・一般市民・学生が参加して、古文献の読解能力と古典籍取り扱い能力の向上に努めた（コロナのため休会中）。
- (2) 西尾市岩瀬文庫所蔵古典籍の調査・DB化、及び文化資源活用の地域連携の研究
 - ・前年度に引き続き、岩瀬文庫所蔵古典籍の悉皆調査及びDB化作業をすすめた。
 - ・既に公開中の岩瀬文庫書誌DBのデータを改善した。
 - ・講演会や著述等を通して、岩瀬文庫の価値や悉皆調査の意義について社会に情報を発信した。
 - ・新編西尾市史編集委員会に委員（学芸・文化担当）として参加した。
 - ・2020年10月に西尾市で催された（リモート開催）第15回「にしお本まつり」に実行委員会委員長として参加し、書物を通じた町おこしという地域連携に取り組んだ。

■ 成果のリスト

[論文]

1. 「リモート授業で安政コロリ体験記を読む」．『窮理』17号．2020年12月．11-17頁．
2. 「コロナとコロリ―幕末の江戸災厄体験記の奇書『後昔安全録』とその著者について」．日比嘉高編『疾病と日本人』．三弥井書店．2021年3月．*-*頁．
3. 「筆跡から著者が判明した話」．『日本古書通信』．2021年3月．*-*頁．

[著書]

1. 『江戸人の教養―生きた、見た、書いた。』（単著）．2020年7月．水曜社刊．232頁．
2. 『（村上忠順叢書第二十一）忠順翁の『座右記』を読むⅡ』（単著）．2021年2月．村上忠順翁顕彰会刊．97頁． ※2019年度に催した四方樹大学の連続講義を講義録として刊行したもの．
3. 『大田常庵日記』（単著）．2021年3月．太平書屋刊．*頁． ※幕末明治を生きた

尾張藩医の日記の翻刻校注と解題。

[講演等]

1. 「江戸の人情を読む 古書簡の世界」. 2020年6月～. NHK文化センター名古屋
※2021年3月まで毎月1回全10回の連続講演
2. 「中根東里と芳子をめぐる物語」. 2020年8月4日. 大人の学びなおし（於イノベーションズガレージ） ※講演
3. 「忠順翁の『座右記』を読む」. 2020年9月4日・10月2日・11月6日・12月4日. 村上忠順翁顕彰会（於豊田市前林交流館） ※連続講演
4. 「尾張藩奥医師の日記を読む—うらやましい人生の送り方—」. 2020年11月4日. 大人の学びなおし（於イノベーションズガレージ） ※講演
5. 「岩瀬文庫本をちょっとだけ専門的に読む～古典文学ゼミナール入門⑫」. 2020年10月24日. にしお本まつり（於西尾市岩瀬文庫） ※講演（リモート）
6. 「くずし字で西鶴」. 2020年11月～. NHK文化センター名古屋 ※2021年3月まで毎月1回全6回の連続講演（リモート）
7. 「コロナとコロリ」. 2020年12月12日. 名古屋大学国語国文学会（於名古屋大学）
※シンポジウム「疾病と日本文学」で研究発表。
8. 「ある尾張藩医の日記に学ぶ、幸せな人生の送り方」. 2021年3月10日. 安城シルバーカレッジ（於へきしんギャラクシープラザ） ※講演

[その他]

なし。

■ 賴 偉寧 LAI Wai Ling (兼任室員・教養教育院特任准教授)

■ 研究開発事項

(1) Develop a series of Nagoya University library workshops on “Logical Thinking Skills for Academic Writing”.

(2) Develop the library workshop series into a preliminary course for the Mei-Writing summer camp.

(3) Develop teaching materials for the workshop series.

■ 研究開発概況

(1) Develop a series of Nagoya University library workshops on “Logical Thinking Skills for Academic Writing”.

The aim of this research is to transform a graduate course into an annual library workshop series titled "Logical Thinking Skills and Academic Writing". The goal of the workshop series is to teach students the necessary components of writing a satisfactory research paper. Specifically, the workshops aim to help graduate students as well as undergraduate students, through step-by-step training in logical thinking, develop the skills needed to write an academic paper with a clear thesis statement and convincing support.

(2) Develop the library workshop series into a preliminary course for the Mei-Writing summer camp.

From 2020, the library workshop series will be used as one of the selection criteria for students who would like to participate in the Mei-Writing summer camp. This means that a wider range of students may join the workshop series as a preliminary course for the summer camp. In order to develop the workshop series into a preliminary course for the summer camp, the primary goal in (1) would have to be adjusted. New teaching methods and materials would have to be developed.

(3) Develop teaching materials for the workshop series.

A textbook titled “The Thesis Statement Recipe: Textbook for the Library Workshop Series on Academic Writing and Logical Thinking Skills” was published internally by the library, and has been used for the workshop series since 2015. A new textbook will be available for both graduate and undergraduate students in 2021.

■ 成果のリスト

[論文]

1. Lai, W. L. Introduction to “Logical Thinking Skills for Academic Writing”. Annals of Nagoya University Library Studies. 2021.

[その他]

- (1) Lai, W. L. “Why is it important to think logically for your writing”. Nagoya University Library workshops on “Logical Thinking Skills for Academic Writing” via Zoom, November 4, 2020.
- (2) Lai, W. L. “How to make your writing clear”. Nagoya University Library workshops on “Logical Thinking Skills for Academic Writing” via Zoom, November 11, 2020.
- (3) Lai, W. L. “How to make your writing convincing”. Nagoya University Library workshops on “Logical Thinking Skills for Academic Writing” via Zoom, November 18, 2020.

■ 齋藤夏来（兼任室員・人文学研究科教授）

■ 研究開発事項

- （1）高木家文書の初期文書について
- （2）野間家文書の活用について

■ 研究開発概況

- （1）高木家文書の初期文書について

真宗門徒としての側面をもつ同様の武家として、尾張藩重臣渡邊半蔵に関する調査を行い、新修豊田市史通史編に知見をまとめた（2021年6月頃発刊予定）。あわせて、近世武家の信仰について、全国学会誌において提言を行った。

- （2）野間家文書の活用について

「知多大仙寺檀越天木氏をめぐる古文書・過去帳・系図」『名古屋大学附属図書館研究年報』17（2020年3月）にかかわり、前提となる中世農村の信仰史にかかわる史料収集を継続している。

■ 成果のリスト

〔その他〕 齋藤夏来「近世政治史における信仰について」日本史研究692号、37-40頁、2020年4月

■ 石川 寛（兼任室員・人文学研究科准教授）

■ 研究開発事項

- (1) 高木家文書の文化財調査に向けた整理作業
- (2) コンテンツ開発・地域連携強化

■ 研究開発状況

- (1) 高木家文書の文化財調査に向けた整理作業

名古屋大学附属図書館が所蔵する高木家文書について、昨年度に引き続き目録整備作業を実施し、F 家政および補遺文書の整理を進めた。

- (2) コンテンツ開発・地域連携強化

1. 高木家文書のデジタル化

高木家文書のうち大型河川絵図について集中的にデジタル撮影を実施した。また、デジタル化を進めるとともに、治水資料の修復計画を策定した。

2. 高木家文書の修復

河川絵図を中心とした高木家文書の修復計画を策定し、国庫補助を申請した。修復は2021年度から3年計画で進める予定である。

3. 新たな河川絵図

木曾三川流域資料の豊富化を図るため、岐阜県安八郡大藪村川並絵図面、岐阜県多芸郡有尾村普請絵図、木曾三川普請関係絵図を購入し、デジタル撮影をおこなった。

4. 清洲竹田家文書

2009年度に購入した清洲竹田家文書の一部を追加購入した。内容は、武田載周の著作である清洲志全5巻のほか、清洲のむかし噺、清洲談叢、清洲城址保存の主意書綴、版木の計9点である。これにより来年度から目録刊行に向けた作業を再開する予定である。

■ 成果のリスト

[論文等]

1. 石川寛「川通掛高木家の川通巡見一天保五年を事例として一」『名古屋大学附属図書館研究年報』18 2021年3月
2. 黒野伸子、石川寛、大友達也「東海地方における近代地域医療の形成と西洋医学の受容(1)」『岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 研究紀要』54 2021年3月

[講演]

1. 石川寛、黒野伸子「小寺家文書の世界」一般社団法人日本レセプト学会 第3回国内学術大会・第2回国際学術大会 2021年2月14日

■ 佐野 智也（兼任室員・法学研究科特任講師）

■ 研究開発事項

- （１）デジタルアーカイブの研究
- （２）法学研究科公開「人事興信録データベース」の開発

■ 研究開発概況

- （１）デジタルアーカイブの研究

デジタルアーカイブの推進により、ジャパンサーチとの連携や横断的な利活用を進めている図書館が多くなっている。図書館サービスの向上を図るため、デジタルアーカイブ学会に参加し、デジタルアーカイブの動向を調査した。

- （２）法学研究科公開「人事興信録データベース」の開発

法学研究科の研究プロジェクトでは、学術情報資源として、「人事興信録データベース」を公開している。2018年8月の公開以降、総利用者数は9万以上あり、一日あたりの利用者数も増加傾向にある。

本年度は、コンテンツの拡充を進めた。さらに、本データベースの国際的な利活用の促進につなげるため、英語インターフェイスの開発を行なった。

■ 成果のリスト

[学会発表]

佐野智也, 増田知子: 『人事興信録』データからの親族ネットワークの可視化, デジタルアーカイブ学会誌4巻2号(2020.4), 195-198頁, DOI: https://doi.org/10.24506/jsda.4.2_195

名古屋大学附属図書館研究開発室年次報告

第 19 号 (2020 年度)

2021 年 3 月 31 日発行

編集・発行 名古屋大学附属図書館研究開発室
〒464-8601 名古屋市千種区不老町
電話 052-789-3697

URL <https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/libst/>

E-mail libst@nul.nagoya-u.ac.jp

